

第 12 期科学技術・学術審議会学術分科会の各部会等における審議状況

1. 学術分科会

（1）第 12 期における主な審議内容

- 研究力強化に向けた取組や科学技術・イノベーション政策の在り方等の学術の振興方策について、調査審議を行った。
- 第 7 期科学技術・イノベーション基本計画に向けて、学術の振興に関する重要事項について調査審議を行い、「第 7 期科学技術・イノベーション基本計画に向けた学術分科会としての意見」をとりまとめた。

（2）引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 「第 7 期科学技術・イノベーション基本計画に向けた学術分科会としての意見」に記載された方向性の具体化に向けた取組や、社会経済情勢や科学技術・イノベーションを取り巻く状況の変化を踏まえた学術の振興方策について、各部会及び関係審議会等と必要な連携を図りながら、引き続き審議を行う。

2. 研究環境基盤部会

（1）第 12 期における主な審議内容

- 学術研究の進展や国際的な研究動向に応じた、全国的観点から推進すべき学術研究基盤の整備について、「中規模研究設備の整備等に関する論点整理（R5. 6. 27）」をとりまとめた。また、大学共同利用機関を中心とした共同利用・共同研究体制の機能強化について検討を行い、「大学共同利用機関を中心とした共同利用・共同研究体制の機能強化に向けた意見の概要（R7. 1. 20）」をとりまとめた。
- 共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の評価及び新規認定に係る審議を行い、結果を公表した。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、各プロジェクトの適切な進捗管理を行った。また、「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想-ロードマップ 2023-（R5. 12. 22）」を策定した。
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、配分等に係る審議を行った。

（2）引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 大学共同利用機関の検証を実施するとともに、引き続き大学共同利用機関及び共同利用・共同研究拠点を中核とした共同利用・共同研究体制の機能強化方策等について審議を行う。

3. 研究費部会

(1) 第12期における主な審議内容

- 科学研究費助成事業（科研費）において、研究種目の整理・統合、国際性・若手研究者支援の強化、研究種目の基金化の推進を含む研究費の効用の最大化、基盤研究の助成の在り方等について、調査・審議を実施した。

(2) 引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 「基盤研究種目群」等の研究種目の在り方や、更なる質的・量的充実に向けた審議を行う。

4. 人文学・社会科学特別委員会

(1) 第12期における主な審議内容

- 人文学・社会科学の振興に向け、人文学・社会科学が主体の「共創型」プロジェクト研究の推進や、研究DXに向けた基盤開発・整備、我が国の人文学・社会科学の研究動向に係るモニタリング指標の開発等について、調査・審議を行い、令和5年8月に「人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について」を取りまとめた。
- 人文学・社会科学の振興に向け、人文学・社会科学の現代的役割、新たな「知」の創出に向けた分野研究の深化及び異分野との連携・融合、新たな「知」の創出を支える研究基盤、研究成果の可視化・モニタリング、研究成果の国内外への発信の強化について、調査・審議を行い、令和6年8月に「今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（中間まとめ）」を、令和7年1月に「今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（審議のまとめ）」をとりまとめた。

(2) 引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 第12期の審議を踏まえ、特に以下3点について、引き続き検討を行う。
 - 人文学・社会科学における研究基盤の在り方や、その活用方策・必要な支援について
 - 人文学・社会科学における共同利用・共同研究体制の成果、現状の課題、今後期待される機能や役割について
 - 人文学・社会科学の研究成果の可視化とモニタリングについて